

日本共産党船橋議員団

三にゅす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>

市会議員	佐藤重雄 ☎432-9872
石川敏宏 ☎462-4548	関根和子 ☎447-0557
事務所 ☎467-2860	事務所 ☎440-7950
岩井友子 ☎438-8647	中沢学 ☎493-8140
事務所 ☎429-2160	渡辺ゆう子 ☎462-7273
金沢和子 ☎422-5278	

「議員は少なければ良い」は誤り!

定数削減条例を否決

9月議会に、会派「凜(りん)」と、と指摘しました。

会派「みんなの党・無所属」それに「民主党」から、船橋市議会議員の定数を「50人から45人」に減数する、という条例案が提出されました。

理由は「経済情勢が厳しいから」と、「他市の議会でも減数しているから」というものでした。これに対して、他の会派から「経済状況については『政府は』好転していると言っているではないか!」という意見も出しました。

日本共産党は「国民には厳しいとも言えるが、大企業の利益は史上空前。その利益を働く人や下請け企業に還元せず『内部留保』されている。そこに目を向けない経済論は誤り」

と指摘しました。

政府が「好転している」と言うのは「大企業が利益を上げていて」ということだけに目を向けているのですから、この言い分にも理由があるとは思いますが、多くの国民の実感とはかけ離れています。これで「経済が厳しい」という主張に賛同する会派は他にありませんでした。

議員は市民の声を 受け止めるセンサー

次に他市の議会との関係も議論になりました。私たちの主張は「減数競争を繰り返したら、合議制の極限の体裁3名にたどり着く。それで議

会の役割を果たせないのは誰が考えてもわかる話ではないか。いろいろな議員がいて、市民のいろいろな意見を議会に反映させてこそ議会の名にふさわしいものになる。議員の役割の一つが、市民の意見を受け止めるセンサー機能なのだから、たくさん議員、さまざまな議員が必要である。すでに船橋市議会の定数は、法律の上限56名から、6名を減数している。今この定数でよい」と主張しました。他にも、市民1万人に1人の議員くらいが適正な数。船橋市の人口は60万人だから60名の議員でもおかしくない。それを50名に抑えているのだから、減数する必要はない。などの主張がありました。

委員会ではこの条例案は否決されました。本会議でも、この条例案は、民主党の議員が賛成者に加わりましたが賛成が10名、反対が38名で否決され、50名の定数が維持されることで決着しました。

